

横浜市戸塚区民文化センター さくらプラザ 情報誌

# SAKURA

Since 2013



Vol.40  
3・4月号

私は、「わたし」に会いにゆく。さくらプラザで、逢いましょう。



El Cielo2020

## 春の夜に降りそそぐ ピアソラの熱情——

== INDEX ==

### Pick Up Artist

「El Cielo2020 × アストル・ピアソラ」出演

### El Cielo 2020

「ともだちやーあいつもともだちー」出演

### 劇団うりんこ

### さくらプラザ 自主事業レポート

らららん♪ドレミ シリーズ  
鈴木理恵子 室内楽シリーズ 6年間のあゆみ

#### 連載

音楽の隠し味／白川 優希  
音楽に酔う／Daryl Jamieson  
男は背中で物語る 戸塚見返親仁  
【新連載】戸塚今昔物語



Pick  
Up  
Artist

# エル シエロ El Cielo 2020

さくらい たいし  
**桜井 大士(Vn)**、**アンドレイ・カヴァッシ(Vc)**、**金森 基(Bass)**、**高木 梢(Pf)**  
かなもり もとい  
たかぎ こずえ  
～アストル・ピアソラの魂を継承する～

バンド名“El Cielo 2020”は、ピアソラの名曲『タンゴの歴史』に由来。彼らの音楽は、圧倒的な超絶技巧、官能的な旋律、そして“魂”が沸騰するかの如く熱く激しいサウンドが特徴です。ピアソラの魂を継承する El Cielo 2020は今年、新たにCDもリリースし、この春さらプラザに初出演。いい意味で4人がバラバラ、という個性豊かなメンバーの素顔に迫ります!

一バンドの結成のきっかけを教えてください。

**桜井大士(以下、桜井):**El Cielo 2020はプロデューサーと僕の発案がきっかけでした。「今ある音楽って、何か物足りない……、何か軟弱なんだよね。世の中には、もっともっと熱くて激しい音楽が必要なのではないか。」という問い合わせから、今のEl Cielo 2020のコンセプトである「この世で最も熱く、激しい音楽を作る」が生まれました。発案当時はオリジナルとピアソラを同時にやっていこうと思っていたのですが、激しい音楽の代表格であるピアソラを研究していくうちに、次第にピアソラのみになっていました。ただ、ピアソラだけ

をやるのならこの世にいくらでもあります。今、一番演奏されている分野もありますからね。我々の理想は、ピアソラを今までになかった方向からとらえ、新しいスタイルでやること、そしてピアソラ自身の演奏の一番の特徴である“熱量”を「再現すること」でした。その理想のサウンドをイメージし、プロデューサーと僕とで、メンバーは考えられる最高の演奏家から選びました。結成は2015年秋です。チエロのアンドレイが2018年12月に加わりました。

一バンド名の『El Cielo(エル シエロ)』はスペイン語で『空』という意味だそうですが、ピアソラの名曲『タンゴの歴史』に由来している、と伺いました。

**桜井:**ピアソラの名曲『タンゴの歴史』は4つの曲に分かれています、『ボーデル(壳春宿)1900』、『カフェ1930』、『ナイトクラブ1960』、『現代のコンサート1990』とあります。いわゆるタンゴが演奏されてきた場所と年代を30年刻みで表しているわけですが、1990に30を足すと2020、そして場所は未来や次世代を表す意味で「天空(cielo)」とプロデューサーと一緒に名付けました。

一アンドレイ・カヴァッシさんは現在日本を中心に活動をされていますね。ルーマニアを離れて日本を拠点にすることを決意した一番の理由は何ですか?

**アンドレイ・カヴァッシ(以下、アンドレイ):**2014年に長崎のハウステンボスでの演奏の仕事に来て、それから度々日本に滞在。日本に対し特別なインスピレーションを感じました。音楽家の成長には今いる自分の環境から抜け出しが必要だと思ったのです。日本という場所、日本の方々、みんな大好きです。



アンドレイ・カヴァッシ(Vc)

一アンドレイさんとお話しされるときは皆さん英語ですか?

**高木梢(以下、高木):**英語で話すのは金森さんだけです。金森さんは通訳は必要ない、と言って通訳をしてくれないので、各自、自分の知る限りの英語と身振り手振りで会話をしています。



高木 梢(Pf)

**金森基(以下、金森):**でもそれって大事なことなんですよ。僕が伝えてもいいけど、アンドレイからしてみたら、僕の言葉なのか、彼らの言葉なのか分からないじゃないですか。本当に必要なこと以外は僕は通訳しないですね。パワーコミュニケーションをお願いします(笑)。

一高木さんのプロフィールを拝見して……。「暴走&炸裂系」ピアニストなのに、超天然キャラ、という文が気になりました。ご自身はどうですか?

**高木:**自分では落ち着いているつもりなんです(笑)。でも、一見しっかりしてそうに見えるんですけど、実は……、という感じですね(笑)。クラシックの音楽を演奏してきたのですが、お仕事としては、コンサートホールよりもライブハウスのような、お客様と近い距離で演奏することがほとんどです。弾いているときは集中しているので自分ではわからないですが、もしかしたら演奏も爆発しているのかも(笑)。

一金森さんは唯一メンバーの中でジャズベーシストとしてご活躍されています。ジャズともクラシックとも違う『ピアソラ』を演奏してみていかがですか?



金森 基(Bass)

**金森:**僕にとって音楽は、ジャズをやっても何をやっても、自分が音楽的に好きかどうかに限ります。なので、ジャンルは気にしないでプレイしています。ジャンルによって演奏に関わる大事な要素は変わってきますけれど、ピアソラはEl Cielo 2020として活動する前は全く弾いたことがありませんでした。それほど興味がなかつたんです。彼らと初めてセッションしてみて、「良いな」と思いました。

一桜井さんはバロック音楽が好き、と伺いました。

**桜井:**バロック自体がクラシックの神髄というか……。バロック様式で書かれたメロディーがすごく好きなんです。あと、ビート感というか、クラシックだけで収まらないところがバロックにはあるんですけど、そういうところも良いですね。作曲家はやはりバッハですね。子どものころから弾いていますし、バッハを弾いている時が1番落ち着くというか、好きです。

一ピアソラはバッハの音楽と通じるところがありますか?

**桜井:**音楽の原点というのは一致しているのかもしれないですね。僕はもともとピアソラも好きなのですが、ピアソラの音楽ってとにかくシンプル。見事な構成で音楽が作り上げられていると思います。何よりメロディーがキャッチーで、ロマンティック。人の心にストレートに入ってくる、そんな感覚の音楽だと僕は思っています。そこがバッハとの共通点かな。ピアソラって、計算されつくされているのかもしれないけれど、「ここで1番きてほしい!」というところでクライマックスの感情がやってくるんです。弾いていても、聴いていても感じるポイントです。バッハと同じだと思います。

**金森:**バッハって淡々としているように思うけど、違うんだね。

**桜井:**そう思うでしょ? シンプルな構造だからそう思われるがちだけど、メロディーをもっと聴いてほしい。込み上げてくるものをそのまま曲にしたところもあるんですよ。それぞれ生きた時代が違うから音楽も「違う」という訳ではないと思っています。感性は同じというか。いつの時代でも人それぞれにあって、普遍的なものだと思います。

**金森:**「ピアソラがタンゴを作った」と言われているけれど、タンゴというジャンルは後からついたものだと思っています。もちろんピアソラだってバッハの影響を受けたと思う。ピアソラはいろんなミュージシャンと交流があった人だから、クラシックはもちろんだけど、ジャズからも影響を受けているし、ボサノバ音楽からも影響を受けている。いろんな音楽に精通していて、そこに自分のオリジナリティーを組み込んでいく、「ピアソラ」の音楽が出来上がった。それを誰かが「タンゴ」としたのだと、そういう印象を僕は持っています。ビートを感じるところはジャズっぽいし、ラテンの音楽を感じるところもあれば、バッハみたいなところもある。多種多様な音楽である気がします。ピアソラの音楽には「タンゴ」というジャンルを付けない方がしっくりきますね。なので、僕らも「タンゴを演奏するグループ」ではなく、「ピアソラを演奏するグループ」なんです。

一メンバーの良いところをそれぞれ一言でお願いします!

**金森:**高木さんと桜井さんは良い意味で、話を聞いていないところ(笑)。高木さんは天然なので、すぐ別の話に飛んじゃう。桜井さんは聞いくれているはずなのに、全く分かってくれない(笑)。アンドレイの良いところは寡黙などころですね。

**高木:**桜井さんは自分の世界を持ちすぎている人。入り込みたいのに入り込めないんですよ。アンドレイはとってもやさしいです。ソフト! 金森さんはその逆で、ぐいぐい来る(笑)。言いたいことは言う、みたいな感じです。でも、彼の言うことは本当に的を射ていて、納得できるので、全く嫌な感じではないんですよね。何気に一番やさしいのかも! 愛のある厳しさ(笑)。

**桜井:**高木さんの良いところはたくさんあると思うんですけど、1番は一途で努力家なところですね。見えないところで頑張っている。とても純粋だと思います。だから一緒に演奏したいって思うんですよね。アンドレイは、言葉の壁が少しあったんですけど、ここ最近になってだいぶ僕の言いたいことのニュアンスちゃんと伝わるようになったかな……。言葉の壁がなくなってきた分、僕にとってはもう兄弟みたいなものですね(笑)。そのくらい信頼できる相棒です。音楽に対しても人間的にも真っ直ぐなんです。僕がど

んな演奏をしてもしっかりとついてくれる。『やさしい』性格が表れているのもあると思いますし、お互い信頼し合っている、という、僕ら2人ならではの世界が生まれ出していると思っています。金森さんはこの通りの方です(笑)。

**アンドレイ:**彼(桜井さん)は全体の基本的なサウンドを作るとてもクリエイティブな人で、僕はそれにビートを刻む。僕と彼は音楽的にも人間的にもそういう関係性を築いています。彼女(高木さん)は音楽全体をまとめてくれているし、本当にみんなを尊敬しています。

一最後になりましたが、2020年5月にファーストアルバムがリリースされますね。おめでとうございます。CDに収録された曲目を戸塚公演でも演奏していただけたら嬉しいです。戸塚公演に向けて、意気込みとお客様にメッセージをお願いします。

**金森:**ライブで音楽を聴くのはCDを聴くのとは全く熱量が違います。収録されたものも僕らが最高だと思う演奏をしているますが、ライブで生まれる瞬間的なものはその時にしか味わえません。ぜひ、僕らの生の音を聴いてほしいです。

(取材・構成／山上 由布子)

2019.11.1 ダイニングバー＆ライブハウス  
「樂屋(らくや)」 控室にて

♪お気に入りのピアソラ	
<b>桜井</b> 悪魔のロマンス	
<b>アンドレイ</b> 冬	
<b>金森</b> ミルトンの肖像	
<b>高木</b> アディオス・ノーノー	
♪普段聴く音楽	
<b>桜井</b> クラシックやJ-POP	
<b>アンドレイ</b> Bruce Springsteen、80～90年代ロック	
<b>金森</b> 雜食なので何でも聴く	
<b>高木</b> あまり聴かない	



↑2019.11.1 ダイニングバー＆ライブハウス「樂屋(らくや)」でのライブの様子

El Cielo 2020×アストル・ピアソラ —魂を揺さぶるその情熱を、圧倒的破壊力のあるサウンドで— 2020年4月24日(金)19:00開演	
*詳細は裏表紙をご覧ください。	

# 『ともだちやーあいつもともだちー』出演

げきだん  
劇団うりんこ

～子どものためになることぜんぶ～

毎年5月5日にさくらプラザで開催している子ども向けの演劇公演。今回は名古屋の老舗劇団である劇団うりんこによる「ともだちやーあいつもともだちー」を上演します。『子どものためになることぜんぶ』を掲げる劇団がどのような想いで演劇を創るのか、「ともだちやーあいつもともだちー」を制作したのかを、劇団制作担当の平松隆之さんにインタビューを行いました。

## ＜劇団うりんこについて＞

—劇団の名前の由来を教えてください。

平松 隆之(以下、略)：

うりんことは「猪の子ども」のこと。猪は子どもの頃はカラダにしま模様が入り、瓜坊、うりんこと呼ばれています。子ども達のところに猪のようにまっすぐに飛んでいきたいという想いで付けました。劇場周辺には猪子石(いのこいし)と言う地名もあり、猪とは縁が深いです。

—今年で創立47年を迎られますか、劇団結成のきっかけは何だったのでしょうか？

創立メンバーは当時、別の劇団に所属し舞台に立っていました。その中に一度子ども達のために上演をしていたのですが、段々と子ども達専門に舞台を作りたいという者が現れ、有志が集まり結成しました。

—皆様が“子ども”をターゲットとした理由を教えてください。

好きなんでしょうね、きっと(笑)。いつも笑顔に励まされてます。

—劇団の特徴や大切にしていることは何ですか？

子どもは大人になる準備期間ではなく、まさに人生を生きています。そんな子ども達に寄り添いながら、自らの正義感や好奇心、自発性を刺激するような作品づくりを心がけています。

—『子どものためになることぜんぶ』のキャッチフレーズに違わず、劇場公演以外にも学校公演やワークショップなど非常に多くの活動をされています。その活動のモチベーションとなるものはなんでしょうか？

演劇の価値や可能性を広げたい、と言ったところでしょうか。演劇の楽しみ方は色々です。また観るだけではなく、やることで気付くことも沢山あります。劇場ではどうしても、来てくれる子ども達としか出会えません。だったらこっちから！と猪突猛進で出掛けています。

—今の子どもたちの為に演劇ができるることは何でしょうか？

演劇は「関係性の芸術」です。コミュニケーションという言葉が呼ばれるようになって久しいですが、特に今の子ども達は人間関係に苦労しています。そもそも他人は他人であって自分ではありません。そんな他者との関係性を客観的に見られるのが演劇です。また人間は共感力が強く、同じ空間では他人であっても想いを共有することが出来ます。そうやって人と人が関わることの難しさと楽しさを感じて欲しいです。



↑「ともだちやーあいつもともだちー」の1シーン。  
「ともだちや」の幟(のぼり)が印象的。

## ＜劇団の拠点「うりんこ劇場」について＞

—名古屋に専用の劇場を持たれていますが、そこではどのような活動をされていらっしゃいますか？

劇団の新作公演はもちろん、夏休みとクリスマスには一週間のロングラン公演をしたり、寄席、ギャラリー、音楽会と劇団の演目以外にも多種多様な公演をしています。

—劇団が拠点を持つことのメリットは何でしょうか？

本番と同じ条件で稽古が出来ることです。2週間前から大道具を立て込んで、本番ながら稽古が出来るというのは実はかなり珍しく、作品のレベルアップに繋がっています。また100席程度の小さな劇場なので手の届きそうなところで子どもたちが観ています。その反応をダイレクトに感じられるのも専用劇場ならではですね。



↑名古屋市名東区にある「うりんこ劇場」



↑「ともだちやーあいつもともだちー」の1シーン。  
キツネさん、オオカミさんなどユニークなキャラクターが舞台を彩る。

## ＜「ともだちやーあいつもともだちー」について＞

—この作品は絵本を原作とした作品ですが、演劇として上演する魅力はどのようなところがありますか？

色々な登場人物があり、それらが物語の中で様々に変化していきます。動物というキャラクターは子ども達にとって親しみやすいだけでなく、怖そなだけ優しいオオカミさんなど、ストーリーに伝えることが出来ます。

—原作を初めて読んだ時の感想を教えてください。

「ともだちや」シリーズは全部で12巻出ているのですが(2020年2月現在)、子どもの問題だけでなく、大人の問題にも踏み込んで書いてあり、現代社会を映し出しているなと思いました。また絵にとても動きがあり演劇的だと感じました。

—演出面でのこだわりはありますか？

実は原作ではない「木こり」という役が最初に舞台に登場します。その木こりが木を斬ろうとどこからか声が……、気のせいかな、気のせいかなと思っているとなんと目の前に木の精が(笑)。この精霊の言葉に誘われて木こりがオオカミとキツネを演じていきます。

—本公演を上演にするにあたり、来場の皆様にどのようなことをお伝えしたいですか？

本作品の主題そのものですが、「ともだちって何だろう?」ということを親子で一緒に感じ、考え、おしゃべりして欲しいと思っています。

—本公演のみどころを教えてください。

絵本の世界觀をとても大事にしている作品です。絵本をまた広げたときに舞台のことも一緒に思い出して欲しいです。また、ひとりの役者が何役もこなしています。ぜひ何役演じたかを数えてみてください。

—最後にお客様へメッセージをお願いします。

公演当日は子どもの日です。子ども達のたくさんの笑顔に出会えること、とても楽しみにしています。劇の魅力、絵本の魅力をいっぱい感じてください!!

(構成／小野 良)

2020年  
5月5日(火・祝)  
13:30開場 14:00開演  
(公演時間約 55分・休憩なし)

【さくらプラザ】  
2月10日(土)14:00～4月10日(日)14:00  
会場 戸塚区民文化センター  
さくらプラザ・ホール

一般 2,500円／子ども 1,000円 (小中学生)  
親子ペア 3,000円 (1名、こども1名) 未来フェスティバル

主催・お問合せ さくらプラザ TEL:045-866-2501 (9:00～21:00)

2020国際子どもと舞台芸術・未来フェスティバル 参加公演

ともだちやーあいつもともだちー

2020年5月5日(火・祝)14:00開演

出演：劇団うりんこ  
佐々木政司 和田幸加 山内庸平(客演)

\*詳細は裏表紙をご覧ください。



## 関連企画も盛りだくさん！

### ①『ともだちや』シリーズ人気投票

4月1日～5月6日の間、戸塚図書館で『ともだちや』シリーズ全巻を読むことができます。また、5月3日までは『ともだちや』シリーズの一番好きな絵本に投票ができ、投票結果は5月5日のさくらプラザのホールにて発表いたします。

戸塚図書館  
住所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町127  
Tel:045-862-9411

### ②世界のともだちイラストグランプリ

まだ見ぬ「ともだち」の姿を想像して、イラストを描くグランプリです。応募いただいた作品は4月29日～5月10日まで、さくらプラザに展示され、表彰された作品には賞品が贈られます。また、作品は7月に開催される『さくらプラザオープナー』にも展示されます。詳しくはさくらプラザ窓口やホームページで配布する「申込用紙」をご確認ください。



申込受付期間  
3月24日(火)～4月21日(火)

↑  
申込用紙はこちらから



**Vol.1** 0歳からのクラシック&リトミック  
2018年7月30日開催／ピアノ・ヴァイオリン



**Vol.2** 親と子のための朗読と音楽  
～読み聞かせワークショップ付～  
2018年9月13日開催／声楽・チェロ



**Vol.3** 0歳から大人まで楽しめる  
コンサート  
～サンタさんからの贈り物～  
2018年12月19日開催／  
声楽・ヴァイオリン・フルート・ピアノ



**Vol.4** 0歳から大人まで楽しめる  
コンサート  
～春の贈り物～  
2019年3月7日開催／  
声楽・ヴァイオリン・フルート・ピアノ



**Vol.5** 雨がふっても気分はハッピー  
2019年6月26日開催／打楽器・ピアノ



**Vol.6** キラキラ☆星空コンサート  
2019年9月25日開催／  
声楽・ヴァイオリン・フルート・ピアノ



**Vol.7** リズムで楽しむ  
クリスマスコンサート  
2019年12月19日開催／  
打楽器・ピアノ



**Vol.8** 親子でリトミック  
2020年3月19日(木)開催予定／  
リトミック

※詳細は裏面の公演情報をご覧ください。

## 今後の シリーズ ラインナップ

**第1回目** 10:45～11:30

**第2回目** 12:00～12:45

※詳細はチラシもしくはホームページをご覧ください。  
(2020年3月中旬公開予定)

こんにちは! 安藤なおこです。  
初めて、らららん♪ドレミに出演させていただくことになりました。お友だちのみんなと、季節に合った手遊びをしたり、みんなで歌ったり……。そして大人の皆さんにもほっこりと楽しんでいただけるような内容を考えておりますので、ぜひ一緒に、楽しい時間を過ごしましょう♪  
皆さんに会える日が楽しみです!

Twitter: @an729nao

## 0歳からのコンサートデビュー

**Vol.9** 2020年6月4日(木)

**Vol.11** 2020年12月24日(木)

NHK BS プレミアム「おとうさんといっしょ」にて、  
歌のお姉さん“なおちゃん”的愛称で親しまれていた安藤なおこさん(2013～2018年に出演)による、子どものための音楽コンサート♪



## Vol.10 2020年9月23日(水)

シリーズではおなじみの「Bambini(バンビーニ)」が贈る、0歳から大人まで楽しめるコンサート! 声楽・ヴァイオリン・フルート・ピアノのアンサンブルで、秋にまつわる音楽を中心にお楽しみいただけます!

## 0歳から大人まで楽しめるコンサート

ゆったりと優しい時間が過ぎていく。  
だっこしたり、手をつないで歩いていく時間。あっという間に過ぎていく親子の時間を音楽と一緒に豊かに過ごしませんか?

小さな世界、春の童謡、愛の挨拶などの曲をはじめとした身近なクラシックや親子で口ずさめる楽しい歌を、ソプラノ、ヴァイオリン、ピアノでお届けします。手遊びうたのコーナーもありますので、ぜひお子様と一緒にご参加ください!

## Vol.12 2021年3月3日(水)

「ママと一緒にちいさな音楽会」は、声楽・ヴァイオリン・ピアノのアンサンブルで、お子様たちも楽しめる手遊び歌や、ちいさな打楽器遊びなどを盛り込みながら親子で参加できるコンサートをお届けします!



さくら プラザ  
自主事業  
レポート

# 室内楽は音楽の喜びそのもの!

## 鈴木 理恵子 室内楽シリーズ 6年間のあゆみ

2014年12月～2020年3月 開催  
全12回  
さくらプラザ・ホール

コンサート・ミストレスの豊かな経験に裏付けられた音楽性と表現力で、ソロ、室内楽奏者として幅広く活躍する真の実力派ヴァイオリニスト 鈴木理恵子さん。さくらプラザ・ホールで2014年よりスタートした室内楽シリーズが、2020年3月14日をもってついにファイナルを迎えます。6年・全12回の軌跡をお届けいたします！



### Vol.1 ヴァイオリン 珠玉の名曲集

2014年12月14日(日) 開催

共演:若林 頤(ピアノ)

▶記念すべき第1回目は、エルガー:愛の挨拶、クライスラー:ウィーン奇想曲など名曲の数々をお届けしました。

### Vol.3 ヴァイオリンとギターの調べ～聖夜の室内楽～

2015年12月19日(土) 開催

共演:荘村 清志(ギター)

▶ギター界の第一人者である荘村さんをお迎えしました。

### Vol.4 フランス名曲集—美しき夕暮れ—

2016年2月14日(日) 開催

共演:若林 頤(ピアノ)

▶印象派の絵画のような、色彩感溢れるフランス音楽の数々！

### Vol.7 ヴァイオリン、 ピアノと弦楽四重奏のコンチェルト！

2017年12月16日(土) 開催

共演:若林 頤(ピアノ)、レスパス弦楽四重奏団

▶今公演よりSeason2に突入し、より大きな編成で室内楽の傑作をお届け。

### Vol.9 弦の響き～シューベルトの傑作～

2018年11月24日(土) 開催

共演:吉村 知子(ヴァイオリン)、鈴木 康浩(ヴィオラ)、毛利 伯郎(チェロ)、高木 慶太(チェロ)

▶シューベルトの傑作である弦楽四重奏曲「死と乙女」と、50分の大曲・弦楽五重奏曲をお届けしました。

### Vol.11 至高のデュオ ブラームス ヴァイオリン・ソナタ全曲集

2019年12月21日(土) 開催

共演:若林 頤(ピアノ)

▶ブラームスが遺した全3曲のヴァイオリン・ソナタを一挙に演奏。

当日追加になった「F.A.Eソナタ」も好評の声をいただきました。

そして最終回!  
まもなく開催!

### Vol.12 ヴィヴァルディ「四季」&バロックの名作と ハンガリーの民族色溢れる傑作達

2020年3月14日(土)14:00 開演

共演:デヴィッド・ノーラン(ヴァイオリン)

安田 謙一郎(チェロ)、曾根 麻矢子(チェンバロ) 他

▶シリーズ最大の編成で『ヴィヴァルディ:「四季」(全曲)』をメインにお届けいたします！

\*詳細は裏表紙をご覧ください。

思い出に残っている公演がありましたら、ぜひ「おたよりコーナー」までお寄せください。  
毎回室内楽の魅力が詰まったプログラムを考えくださった鈴木さん、本当にありがとうございました。

# 音楽の隠し味 Op.5

このコーナーでは、作曲家や有名曲の意外な一面を知ることで  
クラシック音楽をより楽しめる「隠し味」をご紹介します。



ピアニスト 白川 優希

それ程までに音楽にストイックなベートーヴェンですが、一時この作曲から離れていました。理由は意外なものでした。何と、好きな人が出来たのです。ちなみに、恋愛をしている間は別の曲を生み出しています。前述の通り絶望の色が濃い「運命」は、恋人を想う優しい気持ちの時に手をつけられなかつたということでしょう。彼が如何にこの交響曲第5番「運命」と真摯に向き合っていたかがわかるエピソードだと思います。

以上のような背景を知つてから聴いてみると、有名な曲もまた違った観点で分かりやすく楽しめるようになるのではないかでしょうか。



ベートーヴェン

### おすすめの一曲

#### ベートーヴェン/交響曲第5番 ハ短調「運命」作品67

この曲は第1楽章から第4楽章まで1曲とする交響曲です。全てに「ジャジャジャジャーン」というフレーズが様々なアレンジを加えて出て来ます。

第1楽章では絶望感や苦しさも感じますが、第4楽章では勝利や喜びのような明るさに移り変わります。この1曲を通して彼の信条である「苦悩の末に歓喜がある」という前向きなメッセージが含まれているのです。

「beethoven symphony 5」で検索すると様々な音源が出て来るでの是非全楽章を通して聴いてみてください。指揮者によって速さや音の響きが違うので聴き比べながらお好みの演奏を探してみてくださいね。

NHK BSプレミアムで放送された特別ドラマ「黒蜥蜴～BLACK LIZARD～」では私自身がピアノソロ版(リスト編曲)の「運命」第一楽章(抜粋)を演奏しました。既に放送を終えてしましましたが、再放送などでお目にかかることがある際は冒頭のピアノシーンに注目していただけたら幸いです。

※参考文献

ロマン・ロラン『ベートーヴェンの生涯』岩波書店(1938年出版、2013年第81刷)

平野昭『ベートーヴェン』音楽之友社(2012年出版、2018年第4刷)

青木やよひ『ベートーヴェンの生涯』平凡社(2018年出版、初版第1刷)

白川 優希 Yuki Shirakawa

横浜市立南高等学校普通科卒業。桐朋学園大学ピアノ科卒業。井上節子、川島伸達各氏に師事。テレビ朝日系列「はじめまして、愛しています。」「警部補・碓氷弘一シリーズ」殺しのエチュード/マインド」ピアノ監修。フジテレビ系列「世にも奇妙な物語「シンクロニシティ」」ピアノ協力。また、自身の企画で戸塚さくらプラザと泉区民文化センターにて「オペラ紙芝居」を開催。戸塚さくらプラザのイベントに多数出演。



**気軽にモーツアルト！** — 3月21日（土）にピアニストの野田清隆氏が、ピアノ協奏曲第20番と第22番を演奏します。作曲家中では一番変人で若々しいモーツアルトと、野田氏が弾き振りする東京藝術大学音楽学部生・卒業生のことを想像してたら、自分の大学時代が懐かしく思い出されてきました。15年ほど前、私は藝大に研究留学生として在学していました。入学時はもちろん桜の季節ですね。その春、リハーサルやレッスン、授業などを終えて友達と藝大にも近い上野公園へ行き、噴水の前に座って大学生らしく飲みながら、芸術、美学、人生の意味について議論していました。東京国立博物館のシルエットを観ながら何度も雑談したものです。懐かしい！

当然ですが、そういう場合に特別な飲み物を飲むことはありませんでした。来日したばかりの私は普通のビールや酎ハイなどを試し飲みしていました。そう、私が大好きな地ビールブームが来るのは、まだ10年ほど先のことでした。（SAKURA Vol.37参照）

ただ、特別なお酒も飲むことがありました。高価な日本産のシングルモルトウイスキーのブームもまだ先のこと。今なら何万円にもなるウイスキーが手ごろな値段で買え非常に素晴らしい時代でした。特に秩父で蒸留する「Ichiro's Malt」は五千円以下でした。寮の近所の酒屋さんは沢山の種類のウイスキーを売っていて、私の若い舌でも本当に購入価値のあるウイスキーだとはっきり分かりました。上野公園にある賑やかなシーンから遠く離れた寮の部屋に引っ込んで、シングル一杯に蒸留水をひと滴落としただけのストレートを一人で飲むとリラックスできました。日本のウイスキーのおかげで東京に住む私は少し大人になりました。

その寮から引っ越す時、お土産としてクリスタルのウイスキーグラスを貰いました。懐かしさに浸りたい時は、そのグラスで日本産シングルモルトウイスキーを飲みながら、みずみずしいモーツアルトの作品や藝大の同級生が作った音楽を聴いたりします。

さあ、乾杯！



今回取り上げられた公演がお楽しみいただけます。

ピアノコンチェルトを弾き振りで！気軽にモーツアルト！

2020年3月21日（土）15:00開演

全席指定 一般 3,500円／横浜市民 3,000円／学生 1,500円／

EX席（補助席・見切れ席）1,000円 ※横浜市民・学生、EXはさくらプラザのみの取扱い。

【出演】ピアノ・指揮／野田 清隆、さくらプラザ オリジナルオーケストラ

# 男は背中で物語る 戸塚見返親仁

商店のご主人など、戸塚区内で働いている  
オヤジ世代をご紹介するコーナーです。

其之  
四十



今まで様々なお仕事をされていると伺いましたが、元々ラジオのパーソナリティーを目指していたのですか？

今まで学校関係や豆腐の切り売り、パーティーの司会など様々な仕事をしてきました。演劇をするためにいろいろな仕事に挑戦した部分もありますが、アルバイトも含めて4回くらい転職をしてます。子どもの頃は身体を動かすことが大きくて、中学生まで野球、高校からは陸上をやっていました。ラジオのパーソナリティーになっているなんて夢にも思いませんでした。



—スポーツマンから役者、ラジオの業界に転身したきっかけはなんでしょうか？

大学を卒業する頃に学童でボランティアをしていて、そこのお楽しみ会で司会や演じる機会があり、舞台上で味わうお客様からの反応が独特的の体験だったので味を占め、働き始めてから表現を学びたいという気持ちがだんだんと強くなり、仕事をしながら劇団の養成所に通ったというのが芝居人生のスタートです。

ただ、芝居をしていると台本があり、役を演じるので自分自身の言葉ではないと感じることがありました。ラジオのパーソナリティーという仕事は、感じたことや起ったことを自分の言葉で伝えられるのではないかと考えて挑戦をしました。

—今後の夢はございますか？

野球のアナウンスに一番熱い想いを持っています。球場DJという仕事もしているのですが今まで独立リーグやNPBのファームでアナウンスはしたことがあるので、いつか日本シリーズのアナウンスをしてみたいです。また、ラジオは人と人をつなぐメディアなので、戸塚だけではなく3.11で被災された東北と戸塚をつなぎ、多くの方に元気になっていただけたらと考えております。

この後ろ姿から何処のどなただろうと想像してみてください。次号では見返りポーズでお顔を公開します！

新連載

## 戸塚今昔物語 Vol.0



初めてまして、タケと申します。戸塚で生まれ育ち、50数年になります。

社会人になってからは、あっという間に時間が過ぎましたが、あることをきっかけに昨年から戸塚で働くことになりました。

これも何かの縁でしょうか、これを機会に今までの戸塚を思い出し、今昔話のようにお伝えしたいと思います。

戸塚と言えば、三浦半島からの尾根続きで平地より山が多く、自然には困らない場所でしたが、道を歩けば登り降りの連続のうえ、昔ながらの細い畠道のような道ばかりでした。

その戸塚もこの50年でずいぶんと変わりました。変わっていないこともありますが、私が見て感じた記憶に残る戸塚について、少し文化も交えてお話をさせていただきます。特に高校生までは、戸塚での生活時間が長かったこともあり、色々な記憶を引き出すことができると思います。

但し記憶の中の戸塚のため、時期や場所についての間違いや勘違いがあるかもしれません、その点はご了承ください。

エフエム戸塚パーソナリティー  
遠藤 正彦さん

朝から元気、野球大好き、遠藤です！

親に逢いに行こう！

- 担当番組  
 ●おはよう！咲くラジオ  
出演日 / 水・金曜日  
放送時間 / 7:00 ~ 8:55  
 ●放課後放送部  
出演日 / 木曜日  
放送時間 / 10:00 ~ 10:55  
 「エフエム戸塚」で検索！

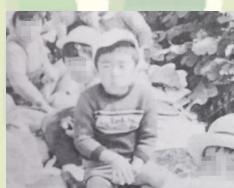
次号、見返親仁  
リニューアル！



自宅付近からの富士山

今回の締めは、今も変わらぬ戸塚からの風景です。それはちょっと高台に登ると、程よい大きな「富士山」がよく見えることです。これは幼い頃から全く変わらない記憶のひとつです。

次号では「東と西」をお題に今昔のお話をさせていただきます。これからのお付き合い、よろしくお願ひいたします。



50年前、戸塚で芋ほり  
(現在の舞岡公園付近)

五十嵐 武 Takeshi Igarashi

生まれも育ちも戸塚の区民。ラストステージは縁あってここ戸塚で働くことに。

顔見世





# さくらプラザコンサートスケジュール

チケットはお電話 (045-866-2501) でご予約いただけます。(一部除外あり)  
詳細はチラシをご覧ください。出演者・曲目などは変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。  
※学生券をお買い求めの際は学生証を必ず提示ください。

若林 頴 セルフプロデュース ショパン:全ピアノ作品シリーズ  
**ショパンを巡る旅 2018-2020《全15回》**  
『ラストシーズン』5/22、7/3、9/18、11/6、  
2021.2.26 以上すべて(金) 19:30  
若林 頤(ピアノ) 他  
**全席指定 一般 2,500円／学生 1,500円**  
**シーズンシート 10,000円(5公演セット)**



**ラストシーズン プレ講座**  
4/18(土) 14:00 約1時間  
若林 頤(解説・ピアノ)  
**全席自由 1,000円**  
会場:リハーサル室



©Wataru Nishida

鈴木理恵子 室内楽シリーズ Season2

## Vol.12 ヴィヴァルディ「四季」

(最終回) &バロックの名作とハンガリーの民族色溢れる傑作達  
鈴木 理恵子(ヴァイオリン)、デヴィッド・ノーラン(ヴァイオリン)  
安田 謙一郎(チェロ)、曾根 麻矢子(チェンバロ) 他

3/14(土) 14:00

**全席指定 一般 3,500円**

**ペア 6,000円／学生 1,500円**

©Wataru Nishida



ピアノコンチェルトを弾き振りで！

## 気軽にモーツアルト！

野田 清隆(ピアノ・指揮)  
さくらプラザオリジナルオーケストラ

3/21(土) 15:00

**全席指定**

**一般 3,500円／横浜市民 3,000円**

**学生 1,500円／EX席 1,000円(補助席・見切れ席)**



©Leonardo Bravo



## El Cielo2020×アストル・ピアソラ

—魂を揺さぶるその情熱を、  
圧倒的破壊力のあるサウンドで—

El Cielo2020:

桜井 大士(ヴァイオリン)、アンドレイ・カヴァッシュ(チェロ)  
金森 基(ベース)、高木 梢(ピアノ)

4/24(金) 19:00

**全席指定 一般 3,000円／ペア 5,500円**

**学生 1,000円／EX席 1,500円(補助席・見切れ席)**



## ともだちやーあいつもともだちー

劇団うりんこ

5/5(火・祝) 14:00 約65分

**全席指定**

**一般 2,500円**

**こども 1,000円(小学生以下)**

**親子ペア 3,000円(一般1枚・こども1枚)**



日本を代表するスーパー・テナー

## 福井 敬 テノールリサイタル

輝く美声がさくらプラザ・ホール450席を包み込む

福井 敬(テノール)

谷池 重綱(ピアノ)

6/13(土) 14:00

**全席指定**

**一般 4,500円／横浜市民 4,000円**

**EX席 3,000円(2F見切れ席)／学生 2,000円**



## 名曲サロン シリーズ

リハーサル室公演 【第1回】11:30／【第2回】14:30

各回 約45分間／全席自由 各回 800円

**シーズンチケット(4公演セット) 3,000円** ※4月29日(水・祝)まで販売



## Vol.23 ヴァイオリン 4/29(水・祝) デュオコンサート

さくらプラザ サポートアーティスト

大澤 理菜子(ヴァイオリン)、早瀬 綾香(ヴァイオリン)



## Vol.24 マリンバ アンサンブル 6/18(木) コンサート

三神 紗里子、篠崎 陽子、伊藤 すみれ(マリンバ)



## Vol.26 新春!声楽と器楽の 2021.1.7(木) アンサンブルコンサート

畑中 紫甫(ソプラノ)、菊地 理恵(ヴァイオリン)  
漆間 有紀(ピアノ)



## Vol.25 ホール特別公演 10/21(水) クラリネット チェロ ピアノによる アンサンブル

14:00 約90分間 **全席指定 1,500円**

安田 茜々子(クラリネット)、富田 祥(チェロ)  
浅井 隆宏(ピアノ)



## 共催 社会風刺コント集団 ザ・ニュースペーパーLive 2020

4/11(土)

**[1部] 14:00 ※完売御礼**

**[2部] 17:30 ※残席僅少**

**全席指定 各回 4,800円**



\*さくらプラザでは  
窓口販売のみ取扱い

## らららん♪ドレミシリーズ

【第1回】10:45／【第2回】12:00 各回約45分

市原 由里香(リトミック) 他 会場:リハーサル室

**全席自由 各回 500円(0歳より有料)**

**Vol.8 0歳から大人まで楽しめるコンサート**

3/19(木) ~親子でリトミック~

※2020年度開催日程については3月中旬公開予定  
チラシもしくはホームページをご覧ください。



## 戸塚区民文化センター さくらプラザ

TEL: 045-866-2501 FAX: 045-866-2502

〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町16-17戸塚区総合庁舎 4F

<https://totsuka.hall-info.jp>

[event@totsuka.hall-info.jp](mailto:event@totsuka.hall-info.jp)



Vol.40  
3・4月号



掲載された方には、お好きなさくらプラザ主催公演  
チケット\*をプレゼント！

\*ご要望に沿えない場合もございます。あらかじめご了承ください。

●氏名 ●掲載用ペンネーム ●ご住所 ●お電話番号 を必ず記載の上、郵送もしくはメールにてお送りください。

※ご記入いただいた個人情報は、当コーナーの目的以外には使用いたしません。※200文字程度におまとめください。

※誌面の都合上、原稿を一部修正させていただくことがあります。

**編集後記** 少しずつ春の気配を感じるこの頃、桜の季節が近づいていますね！ さくらプラザでは新たな試みとして、「学生応援プロジェクト」を開始いたします。詳しくはホームページをご覧ください！ (桑田)